

こんにちは！

ここでは、FBSのプレゼンテーションをクライアントに活用する方法をご紹介します。

このプレゼンテーションは、FBSのIBパートナーが新たな顧客を獲得する上で役立つことを目的としています。これには、紹介リンクやQRコードのセクション、IBパートナーの個人情報スライド、連絡先セクションなど、カスタマイズ可能なスライドが含まれています。更に、クライアントがより簡単且つ早く、問題解決ができるようにするためのビデオレッスンのリンクも含まれています。

1. 紹介リンクとQRコード

いくつかのスライドには、紹介リンクやQRコードを配置するスペースがあります。クライアントがプレゼンテーションを読みながらも、その場でリンクを使えるよう、必要な箇所には必ず設置してください。このリンクは、IBパートナーとして、クライアントを結び付ける役割をしており、クライアントはお客様のリードに従い、次のアクションに進みます。

クリックして参加する [\[紹介リンクを追加する\]](#)

QR
code



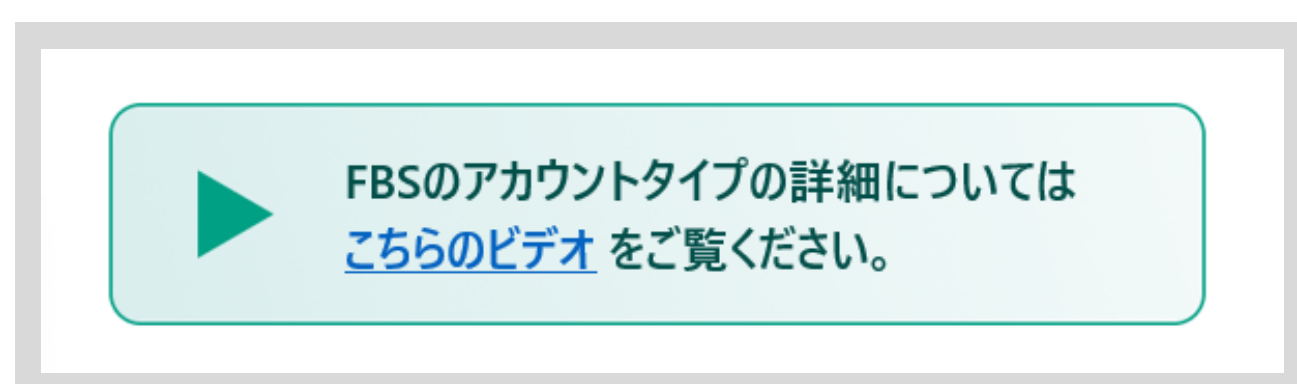
2. ビデオコンテンツ

プレゼンテーション一部には、お客様にとって役に立つ映像資料のリンクが含まれています：

- 個人エリアアプリ - FBS - Trading Brokerの紹介ビデオ；



- 取引口座の種類についてのビデオレッスン；



- 口座開設、個人情報の確認、取引ソフトウェアのインストール、入金方法を紹介するハウツービデオ。

取引の基本

[\[紹介リンクを追加\]](#)

質問がある場合は、該当するリンクをクリックしてビデオレッスンをご覧ください。

口座開設方法	デスクトップ	アプリ	口座開設
情報確認方法	口座	電話番号	個人情報の確認
MetaTraderのインストール方法	デスクトップ	Android	MetaTraderのインストール
入金方法	デスクトップ	アプリ	入金

これらの資料は、お客様の顧客が、FBSとの取引に入りやすくします。

3. お客様について

FBSのIBパートナーとしてFBS製品やサービスを紹介し、自身のことをクライアントに伝えたいと思うかもしれません。「いつでもお助けします」のページでご紹介しています。

このような情報が含まれます：

- 取引経験；
- 関連する学歴がある場合；
- どのような取引を教えられるか
- 自動売買ツールを持っているかどうか；
- 何人のクライアントと仕事しているか；
- レッスン/ウェブセミナー/セミナーを何回開催したか。

必ずしも提案されたトピックを全て網羅する必要はありません。また、お客様の経験について、重要だと思うことをそこに付け加えてもよいでしょう。自分がプロフェッショナルであることをクライアントに知ってもらえるような内容を入れましょう。長所や得意分野、そしてなぜあなたがクライアントに信頼されているかを示しましょう。

また、お客様の写真を追加する必要があります。フォーマル/セミフォーマルな写真を使用することが望ましいです。クライアントに信頼してもらう上で、カジュアルな写真の使用はお勧めしません。

いつでもお助けします





[Name]
FBS Introducing Broker

トレード歴...年
関連のある学歴
取引指導可能
自動売買ツール(はい/いいえ)
[数字]のクライアントと働く
開催したレッスン数[数字]

こちらからフォローできます:

[\[紹介リンクを追加\]](#)

QR
code

4. 連絡を取り合いましょう

最後に、「これからもよろしくお願いします！」のページを使い、連絡先などを教えてください：

- eメール；
- ソーシャルメディアアカウント；
- 電話番号；
- テレグラムアカウント；
- WhatsAppアカウント。

このようにすることで、クライアントはお客様との連絡手段を選択することができます。このページは、お客様の名刺代わりだと思ってください。追加する連絡先は、アクティブであり、最新のものであることを確認してください。使っていないソーシャルメディアやメッセージャーがある場合は、スライドから削除してください。

これからもよろしくお願いします！

Eメール：	[メールを追加]
ソーシャルメディア：	[リンクを追加]
電話番号：	[電話番号を追加]
Telegram:	[Telegramを追加]
WhatsApp:	[WhatsAppを追加]

クリックして参加する [紹介リンクを追加]





これで準備ができました！

このプレゼンテーションを利用し、FBSを宣伝して、新たな顧客を獲得しましょう。そして、取引の世界に入る手助けをしてください。

ご不明な点がございましたら、ib@fbs.comまでお気軽にお問い合わせください。